

全員協議会

平成29年1月19日(木)

■西胆振地域廃棄物広域処理施設整備比較検討報告書(案)について

平成15年4月から稼働している「メルトタワー21」が平成33年7月末日で契約満了となるため、追加工事を実施して施設の延命を図るのか、新施設を建設整備するのか比較検討することとなり、その説明を西いぶり広域連合から受けた。

■西いぶり「生涯活躍のまち」構想(案)について

平成29年3月16日(木)

平成27年に日本創成会議が提言した「東京圏高齢化危機回避戦略」において首都圏の急速な高齢化の対応策の一つとして地方移住環境の整備「日本版CCRC構想」の推進があげられており、それを受け平成28年5月に西いぶり「生涯活躍



メルトタワー 21



のまち」構想推進協議会を設置して、圏域内の資源調査や移住意向アンケートなどの調査を実施。その結果を踏まえた取り組みの方向性などの説明を受けた。

他団体会議報告



開催されました。

今後の予定として

- 平成29年度中に基本計画及び実施設計等、平成30年から建設工事に着手し、平成32年10月運用開始。
- 平成29年3月の各市町議会定例会で規約の一部改正を行う。
- 6月の西胆振消防組合議会で規約等の改正を行い、新一部事務組合を設立。

○第4回臨時会

平成28年12月27日火、伊達市消防

防災センターにおいて開催され、「西胆振消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する一

報告
田中秀幸
西胆振
消防組合議会

○第3回総務常任委員会
臨時会終了後、次の報告と説明がありました。
(1)平成28年火災発生状況及び救助出動状況について
(2)西胆振消防組合の変更について
胆振西部1市3町による一部事務組合で、西胆振消防組合の枠組みを活用した「火葬場の共同整備」を行う。

する条例の一部を改正する条例について審議し、原案のとおり可決した。

議員研修会

西いぶり
広域連合議会

報告 阿部正明



平成29年2月9日(木)、防災センター3階

防災教育ホールにて

がりにつながっていくというねらい
がある。

さらにテーブルやBGMにもこだ
わり、カフェの雰囲気で飲みものを
飲みながら、対話が進められていく。
飲みものにも工夫があり後方にお
けが生まれ緊張感がほぐれるなどの
効果を狙っている。

今回は、多くの人が初めての体験
で最初はぎこちなかつたが、この手
法で対話が弾んでいた。

今後は、地域住民・生徒・団体
等とワールドカフェを取り入れ、本
市の発展に向け多くのアイデアにつ
ながる対話ができるることを期待した
い。

○第1回定例会

(平成29年2月20日(月))

以下の議案を原案可決しました。

- (1) 平成28年度西いぶり広域連合一般会計補正予算(第1号)
- (2) 平成29年度西いぶり広域連合一般会計予算



ワールド・カフェの様子
(テーマ／伊達市の20年後の未来を考える)

▽吉村俊幸
▽阿部正明
▽寺島徹

○総務常任委員会

(平成29年2月13日(月))

以下の所管事務調査を行いました。

- (1) 西胆振地域廃棄物広域処理施設整備比較検討報告書について
- (2) 訴訟経過について

○講師 佐藤淳氏
青森中央大学経営法学部准教授
早稲田大学マニフェスト研究所
招聘研究員

○講演会

講師佐藤淳氏の講演の内容は実践を交えたワールドカフェ(席替えをする井戸端会議)という手法を取り入れ対話の大切さを学ぶこと。講演で最初に話されたのは、「討論」と「対話」の違いについてである。

「討論」とは、相手の間違いを指摘し論破することであり、自分の考えに固執し、意見の合わない人とは、あまり関係になりやすいものである。「対話」とは、双方の意見を共有し、意見が合わないときは何故違うかと一緒に考える。自分が間違っているかもしれない途中で考え方かが変わり、一人では気が付かないアイデアが生まれ、信頼関係が構築されるものである。

そこで実際にワールドカフェを体験し、議員と職員で伊達市の20年後の未来を話し合った。

内容は、1グループ4～5人とし、9グループに分かれ、話し合いを続けていく、途中で一人を残し席替えを2回して、最後には元の席に戻る。すると何故か自宅に戻ったような感じを受ける。

話し合いで出た内容は模造紙にメモ感覚で書き出すことにより、発言しやすくしたり、皆のアイデアの広

